

満員御礼

大相撲

田村場所

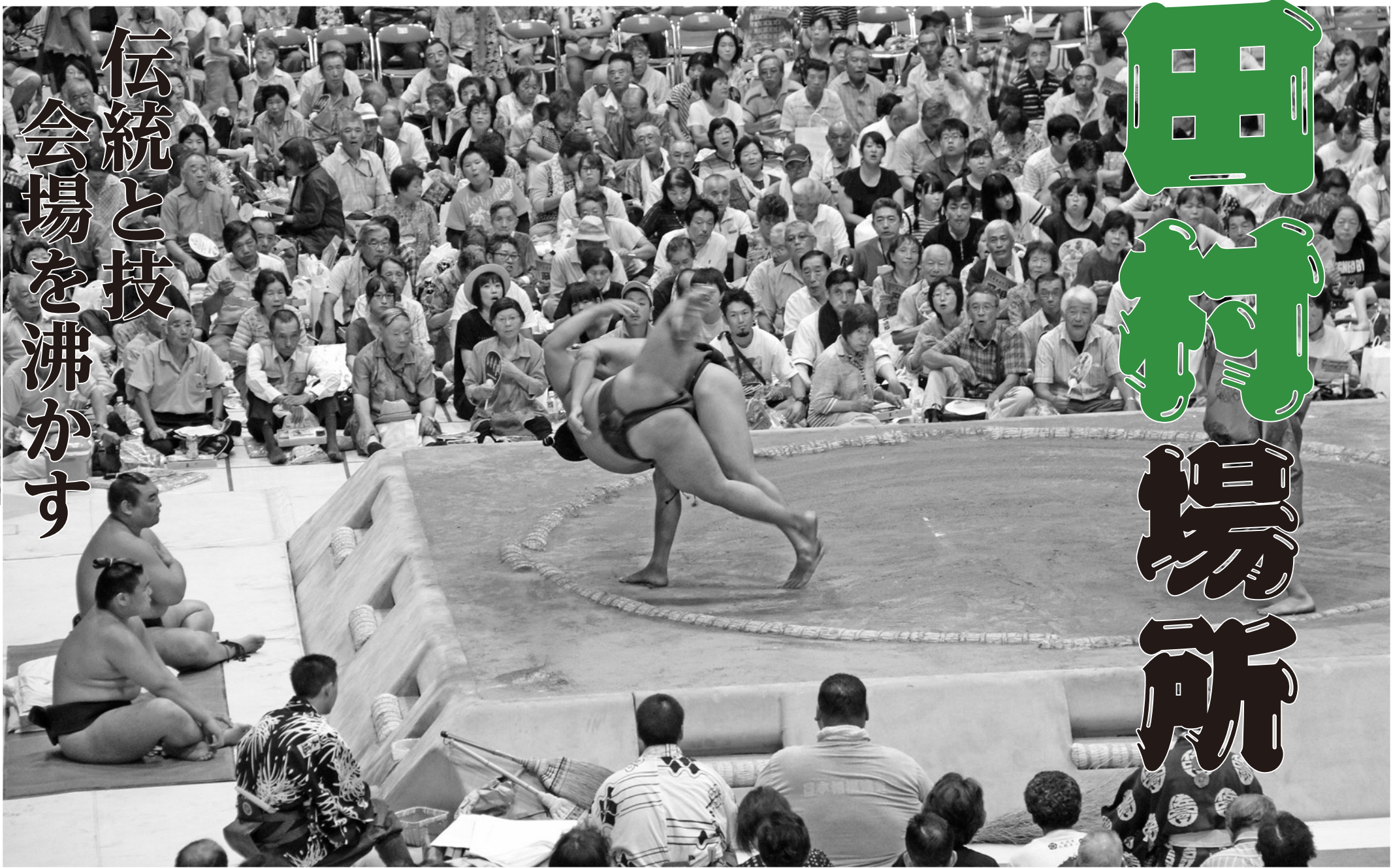
8月5日、大相撲の夏巡業が市総合体育館で行われ、力士たちを間近で見ようと、約2200人の市民、相撲ファンが詰めかけました。横綱の白鵬関や日馬富士関など総勢176人の力士が、稽古や取り組みなどを披露しました。

大相撲の夏巡業は、毎年全国各地で行われていますが、田村市では初めての開催です。一般の興業ではなく、市民協働によるまちづくりの実践の場として、実行委員をはじめとした多くのボランティアスタッフ、市民に支えられ、準備や運営が行われました。



①会場設営（8月4日）。50人以上の船引高校生・市民ボランティアなどのご協力のもと、土俵や会場が設営されました。②朝早くから開場を待つ来場者。③市内企業協賛ののぼり旗。そのほか横断幕、懸賞、パンフレット広告にも協賛いただきました。④受付準備。当日も300人以上のボランティアスタッフにご協力いただきました。⑤力士と握手する来場者。⑥4倍を超える応募があった子ども相撲。⑦英語指導助手の先生方も観覧。後ろでは力士の稽古が行われています。⑧白鵬関の土俵入り。⑨日馬富士関と豪栄道関の迫力ある取り組み。⑩2階席から取り組みを観戦する来場者。⑪歓声を上げる来場者。

伝統と技 会場を沸かす



午前中は、メインアリーナの中央に設けられた土俵で稽古が行われ、十両の宇良関と日馬富士関の激しいぶつかり稽古が披露されるなど、生の迫力に会場は沸き立ちました。

また、抽選で選ばれた市内の小学生30人が、力士に稽古をつけてもらいました。子どもたちが大きな力士を土俵の外へ懸命に押し出そうとする姿に、会場から拍手や声援が送られていました。

午後は、白鵬関や日馬富士関などの土俵入りや幕内の取り組みが行われました。日馬富士関と豪栄道関の取り組みが終わると、聡ノ富士が弓取り式を行い、打出し（終了）となりました。